

南信州広域連合第4回広域連合会議 結果報告

日時：平成26年7月16日(水)15:47~16:22

場所：長野県飯田合同庁舎 502・503 会議室

1 開 会…15:47

【出席者】14 市町村長・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕有賀所長・松田副所長・丹羽地域政策課長

〔飯田保健福祉事務所〕北澤副所長

〔飯田建設事務所〕山岸所長

〔飯田市〕清水市民課長・松尾企画課長・宮下企画調整担当専門主査

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長

〔飯田環境センター〕米山事務長

【事務局】渡邊事務局長・吉川事務局次長・清水事務局付専門主査・塚平事務局次長補佐兼企画調整担当専門主査・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・片桐庶務係主事

2 広域連合長挨拶

台風8号により、南木曾町において土石流が発生し、大きな被害が出ていることに対しお見舞い申し上げます。本日は、定住自立圏「共生ビジョン」の改訂、戸籍システムの共同利用など、この地域全体にとって重要な案件も出てくるのでよろしく願いたい。

3 協議事項

(1) 戸籍システム機器の共同利用について（資料1）

…資料による説明（飯田市市民課 清水課長）

〔共同利用することに至った経緯〕

・戸籍事務については、元来市町村ごとに取り扱うことが定められていたが、平成7年の通達以降広域連合等で処理することが可能となっている。全国で13団体、県内でも3団体が共同利用を導入済み。

・戸籍の電子化による維持経費負担が地方財政を圧迫している。

・平成24年の戸籍住民基本台帳事務協議会の役員会で、北部ブロックにおける共同利用が検討されていることが報告され、その話合いの中で、飯伊地区全体での共同利用を検討することが確認された。戸住協を中心に検討が進められる中で、飯田市にサーバーを設置管理し、飯田市の戸籍システム機器更改時期（H27.11）を軸に参画に賛同していただいた町村と共同利用を開始することとなった。

〔実施内容〕

・実施目的は、共同利用による経費削減、及びリスク管理の観点から遠隔地にバックアップを構築すること。

・実施主体は飯田市。定住自立圏における追加協定を締結する。

・実施時期は、仮の想定として第一次を平成27年11月、第二次を平成29年11月の2段階。

・実施方法としては、飯田市に設置されたサーバーに市町村の戸籍システムが同居するが、領域が隔離されているため他市町村の戸籍閲覧や処理はできない。接続は、専用回線（県 WAN）を利用する。長野市の（株）電算 DC に、第二システムバックアップを構築予定。

〔経費の内訳と負担割合〕

・導入経費…サーバ本体購入及びセットアップ経費

- ・管理費・・・飯田市のサーバ機器管理経費、第二バックアップ管理費
- ・負担割合・・・参画市町村のシステム構成割（単独更改する場合の見積額割合）とし、利用期間分を負担する。共同利用経費は、定住自立圏形成協定により実施するため、特別交付税の対象。

[今後の進め方]

・今年度 10 月までに、町村における参画の有無及び参画時期の意向を確認した上で、飯田市は 27 年度当初予算に機器導入経費を予算計上。第一次参画町村も、27 年度予算に更改経費及び負担金を予算計上していただく。

- ・担当者で組織する「共同利用協議会」において、詳細協議を行う。

[パスポート発行事務について]

別件になるが、先日新聞報道にもあったとおり、新庁舎開庁に併せ、平成 27 年 4 月からパスポート交付事務について県から権限移譲を受け、窓口取扱いができるよう協議を進めている。協議が整った段階で報告させていただく。

【質疑なし】 参画意思を確認した上で進めていくことが確認された。

(2) 南信州定住自立圏「共生ビジョン」改訂について（資料 2）

…資料による説明（飯田市企画課 松尾課長）

平成 21 年から取り組んできた南信州定住自立圏が 5 年を経過したことに伴い、共生ビジョンの見直しを行った。策定及び変更は中心市が行うこととされているため、飯田市で改訂（案）を作成したので本日ご確認いただきたい。

今回の見直しに当たり、ヒアリング・アンケートにより 5 年間の取組を振り返ったところ、

- ・医療、福祉分野を中心に生活に必要な機能の強化が図られた。
- ・公共交通ネットワークの構築により、住民の利便性が向上した。
- ・都市機能と生活機能を役割分担することで行財政の効率化が図られた。

以上の効果が認められ、これまでの取組実績及び方向性が確認されたことから、前ビジョンをベースに必要な箇所の見直しを行った。見直し箇所は資料 No. 2-2「共生ビジョン」（案）の中で青字で示してある。主な箇所としては、圏域の将来像に「人口減少問題」、「リニア・三遠南信自動車道時代を見通し」について加筆修正した点、協定に基づき推進する具体的な取組として、事業内容を平成 30 年度までに更新し、積算根拠となる各市町村の個別計画も前回同様に掲載した点、期間を平成 26 年度から 30 年度までの 5 年間とした点である。

14 市町村で取組んでいく地域づくりに加え、各市町村が政策別に小回りを利かせた対応が可能な定住自立圏のもつ有効性をさらに生かすことによって、多様性あふれる圏域づくりを進めることができると考えている。

【質疑なし】 見直しの方向性が確認された。

(3) 基本構想・基本計画策定について（資料 NO. 3）

…資料による説明（塚平企画調整担当専門主査）

6 月 14 日に開催した、第 4 回策定委員会の報告。基調講演として、元山梨放送アナウンサーで、山梨県観光大使である外川智恵さんをお招きした。分散会では「基本構想」に係る検討を引き続き行った。資料にはないが、7 月 12 日に第 5 回策定委員会を開催し、インバウンドの専門家である村山慶輔さんを基調講演にお招きした。次回は 8 月 2 日、23 日に開催する。この 2 回の委員会をもって、基本構想部分の集約をする予定。

【質疑なし】

(4) 南信州セカンドスクール総会について（資料 4）

…資料による説明（秦野広域振興係長）

本年度の総会を、7 月 25 日（金）13:30～鼎文化センターで開催する。引き続き行われる研修会では、受入れに際し注意すべき子供のアレルギーについて、健和会病院の和田副院長に講演をしていた

だく。その後、圏域内の事例発表を阿南町の伊藤氏、豊丘村の原氏に、児童や学校、受入関係者へのアンケートの集計結果を、分析していただいた飯田女子短期大学の奥井准教授にそれぞれ発表していただく。

通知は各市町村及び関係団体に既に発送済み。関係者の参加をお願いする。

【質疑なし】

(5) 平成 27 年度介護保険制度改正の概要について (資料 5)

…資料による説明 (吉川事務局次長)

地域医療総合確保推進法の成立に伴い、介護保険制度が若干改正された。広域連合の事務に影響が出る部分について説明する。

主なポイントとして、特養の新規入所者が原則、要介護 3 以上に限定された。ただし、要介護 1、2 であっても、一定の条件の場合には入所可能。その例は資料にあるとおり。要介護 1、2 については特殊事情ということで、該当市町村の枠の中で入所していただくことを考えている。したがって、今後の入所調整事務については次のような変更を検討している。

- ・要介護 3～5 は従来通り。
- ・要介護 1、2 は各市町村に申込みがされた後、「施設が所在する市町村」の場合は市町村が独自に順位判定及び入所調整実施。「施設が所在しない市町村」の場合は市町村から広域連合に申込み、広域連合で順位判定及び入所調整実施。

詳細は、担当課長会議で調整させていただく。

【質疑】

・「市町村枠」として、市町村長が決めて入所させていいということか。

→市町村の優先枠については、独自に順番等を決めていただいて良い。

・施設が無い自治体には独自枠がないため、不利益ではないか。広域が調整しても、空きがなければ入所できない。

→来年 4 月の見込みとして、施設が無いのが 3 村。その 3 村における現在の広域枠待機者 (要介護 1～5 全て) は 4 名程度と少ない。個別に対応が必要となれば検討していく。

・現在、要介護 1、2 の人はどれくらい入所しているのか。

→あまり入っていないはずである。(入所人数を調査し後日報告することとなる)

(6) 南信州地域への移住・二地域居住調査の実施状況について (資料 6)

…資料による説明 (塚平企画調整担当専門主査)

本調査の中間報告 (速報版) ということでお知らせする。調査委託先については、公益財団法人鉄道総合研究所。南信州地域への移住や二地域居住の可能性の検討に資する資料の作成を目的として、国内における別荘・別宅利用の現状把握と、南信州地域やリニア中央新幹線に対する意識や認知に関する調査を実施し、その結果を報告していただく。本報告については 9 月末を予定。

調査は 6 月に実施された。調査の概要は資料の 2 番を参照。中間報告の結果は裏面に箇条書きにしてまとめた。内容については、別荘・別宅に関するもの、南信州地域の認知度に関するもの、リニア中央新幹線計画の認知度に関するものの 3 本立となっている。ご意見があれば、これから行う本分析に反映させることもできる。今月中にご意見をいただきたい。

【質疑なし】 意見がある場合は事務局に連絡する。

(7) 平成 26 年度上半期「火災・救急・救助統計」の概要 (速報値)、熱中症疑いによる救急搬送の状況について (資料 7)

…資料による説明 (関島消防次長)

・上半期火災件数は 68 件で昨年比 17 件減。種別では建物 29 件で昨年と同数。林野、車両の件数は昨年比で減少。

・上半期救急件数は 3,399 件で昨年比 99 件増。種別では急病 2,220 件で昨年比 150 件増。全体の

60%を占める。

・上半期救助件数は59件で前年比5件増。種別では交通事故が昨年と同数の19件で全体の32%を占める。

・上半期の統計は、7月18日に記者発表、8月議会全員協議会でも報告予定。

・熱中症疑いによる救急搬送について、5月19日～7月8日の計51日間の状況。搬送人員13人で昨年比20人減。年齢区分では成人5人、65歳以上の高齢者が8人。発生場所区分では屋内5人、屋外8人。今後増加が見込まれるため、引き続き注意喚起に努めていく。

【質疑なし】

(8) 後援依頼について (資料8)

…資料による説明 (北原庶務係長)

8月24日(日) 第43回全日本天竜川カヌー競技大会 (高森町)

【質疑なし】 後援が承認された。

…その他で売木村長から後援依頼が出された。

9月6日(土) 第1回うるぎ星の森音楽祭

9月23日(火) 売木村が事業主体の婚活イベント (根羽・阿南・天龍・売木・愛知県豊根村の地域おこし婚活隊が主催)

【質疑なし】 後援が承認された。

(9) 「南信州キャンペーン in 浜松・in 豊橋」について (資料9)

…資料による説明 (秦野広域振興係長)

8月30、31日に浜松、9月7日に豊橋で開催する。三遠南信自動車道の開通やリニアの開業を見据え、圏域をPRするイベントとして取組んでいる。今年度は全市町村の参加を目標に、各市町村担当者 と調整を行っているのでご理解をお願いする。

【質疑なし】

4 長野県から「南信州地域づくり大賞」の見直しについて

…下伊那地方事務所 丹羽地域政策課長の説明

下伊那地方事務所独自の取組で平成18年度に創設し、表彰式には峰竜太さんを招聘。平成25年までの8年間で表彰実績は116件。

見直しの背景としては、地域づくりに実績のある取組は概ね表彰できたこと。平成19年に「地域発元気づくり支援金」において同様の表彰制度がスタートし、重複感があると共に、知事表彰や総務大臣表彰もある中でステータス感が高くないこと。その結果として応募の減少傾向が続き、新たな対象の掘り起こしも難しい状況である。

今回の見直しで、この表彰制度は廃止となる。峰竜太さんには観光関係等、新たなステージでご協力いただく。

【質疑なし】

5 その他

…資料による説明 (吉川事務局次長)

南木曾町の土石流災害に対し、飯田市から給水車が派遣されている。水道事業者の相互応援協定に基づき、同協定の代表理事である松本市からの要請による派遣。12日から18日までの予定だが、現在浄水場に泥が入っている状況のため日程は不透明。当初3.2t車を派遣していたが、道路状況により現在は2t

車を派遣している。

6 今後の日程

7月25日（金）南信州セカンドスクール協会研修会及び総会

場所 飯田市鼎文化センター

時間 13時30分～

7月26日（土）デザイン系大学院大学の設置を考える講演会

場所 南信州・飯田産業センター

時間 10時00分～

8月8日（金）広域連合会議 合庁502・503

8月29日（金）広域連合議会 飯田広域消防本部

7 閉会…16:22